

【成果概要】6-5.気候変動によるスイートピーへの影響調査

調査結果の概要

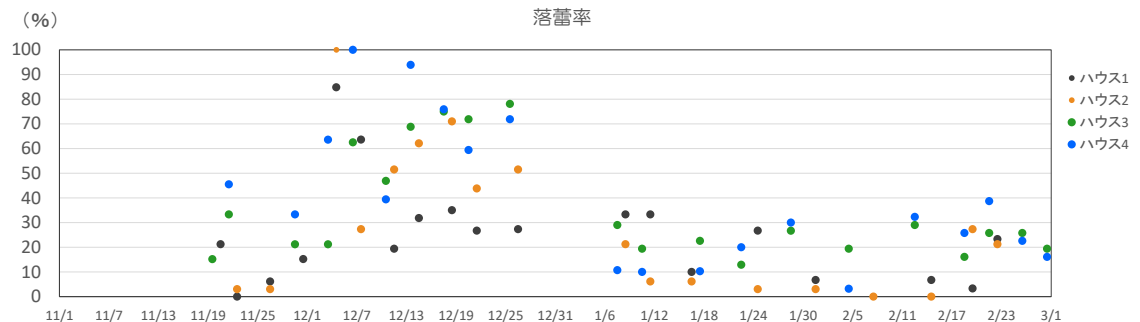
■ 平成30年度の成果

【既存資料の収集・整理】

- 秋季や早春に夜温が15℃以上になると草勢が弱くなり、成長点消失や奇形などの高温障害が発生しやすくなる。
- 落蕾の対策として、曇天から晴天に変わる場合の遮光ネットによる日射量調整が行われている。補光、マルチによる反射光利用、かん水量や施肥の調整、低温管理などの対策が研究されている。

【栽培環境調査】

- 11月中旬以降、断続的に曇雨天となり、11月下旬から12月下旬に各ハウスで落蕾が発生した。



■ 明らかとなった課題

- 花き類の気候変動による影響予測に関する情報が少ないため、対象を広げて情報収集する必要がある。

■ 平成31年度の調査計画

- 栽培環境調査を4月まで継続
- 気温等の変化とスイートピー生育障害との関連性解析の継続
- 気候変動による生育への影響予測・評価を実施
- 適応策の検討
- 他地域への拡張性の検討